

令和2年度
(第11期事業年度)

決算報告書



自 令和 2年 4月 1日
至 令和 3年 3月 31日

公立大学法人愛媛県立医療技術大学

令和2年度 決算報告書

公立大学法人愛媛県立医療技術大学

【単位:円】

区分	予算額	決算額	差額 (決算-予算)	備考
収入				
運営費交付金収入	692,618,800	711,628,700	19,009,900	
自己収入	258,501,000	341,296,192	82,795,192	
入学金及び授業料等収入	254,029,000	246,766,883	△ 7,262,117	
雑収入	4,472,000	94,529,309	90,057,309 (注1)	
受託研究等収入	4,180,000	12,358,384	8,178,384 (注2)	
目的積立金取崩収入	12,000,000	26,167,082	14,167,082 (注3)	
計	967,299,800	1,091,450,358	124,150,558	
支出				
教育研究費	102,952,000	80,961,624	△ 21,990,376 (注4)	
人件費	725,625,000	720,165,175	△ 5,459,825	
管理費	134,542,800	236,883,520	102,340,720 (注5)	
受託研究等経費	4,180,000	5,210,036	1,030,036 (注6)	
計	967,299,800	1,043,220,355	75,920,555	

○ 本表は当法人の年度計画における当初予算に対する決算の状況を表示しております。したがって、財務諸表とは科目表示が異なり、各科目での算定条件も異なっております。

○ 予算と決算の差異について(主な原因)

(注1) 県から臨時的に、新型コロナウイルス感染防止対策事業費補助金の交付があったことにより収入が増加しています。

(注2) 用途特定寄附金、共同研究費の新規受入に伴い、収入が増加しています。

(注3) 目的積立金取崩により、サーバールームの移転、駐車場・駐輪場の整備、実習室AV設備整備、構内照明修繕等の施設設備の改善、実習用タブレット整備、老朽化した機器の更新・補充等の教育・研究機器の整備を実施しました。

(注4) 新型コロナウイルスの影響による実習や出張の中止、研究費の節約等により支出が減少しています。

(注5) (注1)の新型コロナウイルス感染防止対策事業費補助金事業費及び(注3)の目的積立金取崩事業費を管理費から支出したことにより支出が増加しています。

なお、新型コロナウイルス感染防止対策事業費補助金事業では、非接触型体温計、サーモグラフィー、パーテーション等の整備、トイレ等の非接触化対策やサーキュレーター・網戸設置・別館空調冷温水機更新などの換気対策、臨地実習代替用妊婦型シミュレータ整備、オープンキャンパスのWEB化などを実施しました。

(注6) 用途特定寄附金、共同研究費の新規受入に伴い、支出が増加しています。